

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

国有林における森林計画 ～多面的機能の発揮や林業の成長産業化への取組～

森林は、国土の保全、水源の涵養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の多面的機能の発揮を通じて、国民が安全で安心して暮らせる社会の実現や、木材等の林産物の供給源として地域の経済活動と深く結びつくなど、さまざまな働きを通じて私たちの暮らしを支える大切な存在です。そのためには、長期的な視点に立った計画的かつ適切な森林の取扱いを推進することが必要です。このため、森林法等において森林計画制度を定めています。

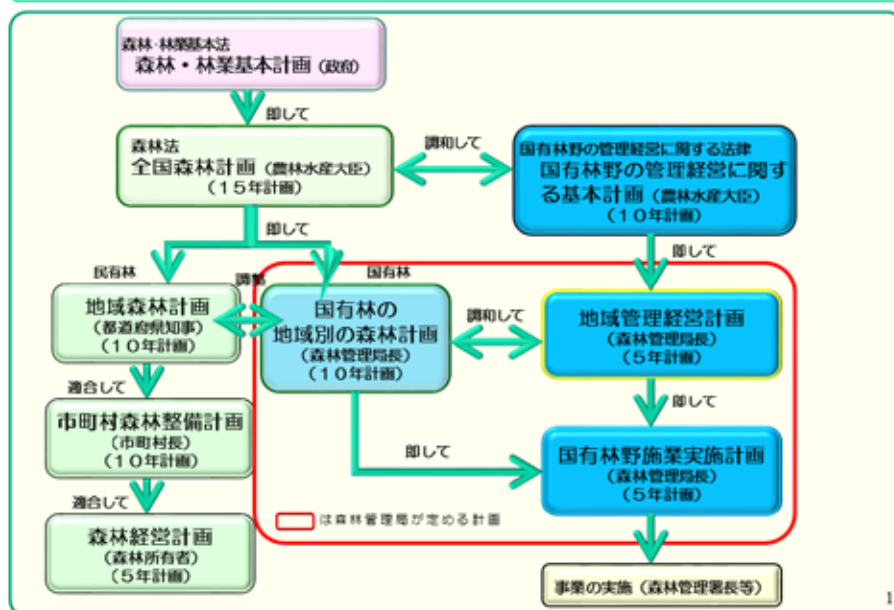
国有林の森林計画には、「森林・林業基本計画」、「全国森林計画」に即し、各森林管理局長が10年を1期として樹立する「国有林の地域別の森林計画」、農林水産大臣が10年を1期として策定する「国有林野の管理経営に関する基本計画」に即し、各森林管理局長が5年を1期として策定する「地域管理経営計画」及び「国有林野施業実施計画」があります。

昨年5月には、森林計画の根本となる新たな「森林・林業基本計画」が閣議決定されました。そのポイントは、1. 資源の循環利用による林業の成長産業化、2. 原木の安定供給体制の構築、3. 木材産業の競争力強化と新たな木材需要の創出などに取り組むこととなっています。

近畿中国森林管理局では、新たな「森林・林業基本計画」を踏まえ、地域の森林の状況に応じた広葉樹の積極的な導入や複層林の積極的な導入をはじめとした多様な森林整備、植栽本数の引き下げや列状間伐の導入をはじめとした林業の低コスト化などをポイントに森林計画を樹立・策定しております。

なお、地域管理経営計画等の策定に当たっては、より広く国民の皆さまのご意見をお聞きするため、平成25年度から「地域懇談会」を開催するなど、地域住民や関係者などの多様な意見を把握したうえで、計画案を作成し、公告縦覧に供するとともに、関係自治体、学識経験者等の意見を聴取し、計画内容に反映することとしています。

森林計画の体系



【針広混交林】(広島県庄原市)



【列状間伐後のスギ人工林】(岡山県新見市)

ニュース

園児を対象に森林教室 ～リース作り～

【広島森林管理署】 12月13日（火）、安芸太田町の加計認定こども園あさひにおいて、森林教室（紙芝居読み聞かせ）と自然素材を使ったクリスマスリース作りを実施しました。

「身近にある森林や木の役割、大切さを知る」「自然物を使った制作を楽しむ」ことを目的に例年開催しているもので、当日は年長組の園児12名が参加しました。

紙芝居「森林からのおくりもの」では読み聞かせと園児へ簡単な質問を織り交ぜた対話形式で進め、園児は知っている物が絵の中に登場すると元気な声で答えたり、大人の想像もつかないような質問を



していました。

リース作りでは、国有林内で集めたつるや木の実、木の葉等の材料を使って、当署職員や先生に手伝ってもらいながら、思い思いの

材料を使って楽しみながら制作を体験しました。

当日用意した木の実や木の葉は、園児はもとより先生方にも人気があり、「制作体験の後にも工作で使いたい」との要望で、残りの一部をお渡しして有効活用もできました。

約1時間の製作時間で、園児は個性豊かなクリスマスリースを作り上げ、一人ひとりの名前を書いたリボン飾りを付けて完成させ、作品を手元に記念撮影を行い、予定の日程を無事終了しました。



第1回「春日奥山古事の森」 シンポジウムを開催！！

【奈良森林管理事務所】 12月10日（土）、「春日奥山古事の森」の普及を目的に「古都奈良に見る木の文化と森づくり」と題して、春日大社感謝共生の館において、



春日奥山古事の森育成協議会（会長：伊勢久夫権宮司）主催のもと、シンポジウムが開催されました。

このシンポジウムは、社寺仏閣の木造

建築物を支えるスギ、ヒノキ、マツなどの木材を育て、来るべき修復時に備える必要があることを広く市民に訴えようと開催されたもので、一般参加者や協議会関係者など約220名が参加しました。



シンポジウムでは、始めに伊勢会長からの開会挨拶があり、春日大社式年造替にかかる修復用材の一部に国有林から供出されたアカマツ材を使用して若宮御旅所御仮殿を建立することができたが、今後の式年造替を執り行うにあたり、様々な材料の確保と技術者の育成が急務であることなどの紹介がありました。

基調講演では、京都大学生存圏研究所の杉山淳司教授から「木の文化を支えるスギ・ヒノキ・マツの歴史」をテーマに、日本書紀においても木の種類毎に使い方が記されていること、木材の構造として心材と辺材の違いや京都の三十三間堂など木造建築物の使用事例を挙げ、木材と歴史・文化や私たちの生活への関わりについて詳しく話されました。



この後、「古都奈良に見る木の文化と森づくり」をテーマにしたパネルディスカッションを行いました。

コーディネーターをユネスコ・アジア文化センター所長・西村康氏に務めて頂き、伊勢久夫権宮司、奈良県まちづくり推進局理事・中西康博氏、杉山淳司教授、片山奈良森林管理事務所長の4名がパネリストを務め、式年造替完成の苦労話、奈良公園管理の大変さ、修復用材の確保

と森林育成、野生動物と森林病虫害被害など、今の森林や春日大社周辺が置かれている状況の課題などについて議論を行いました。

第一部の最後に、片山所長から、参加者に「木や木材を積極的に使ってください。使って育てることが木の文化の伝承や様々な技術者の育成に繋がるのです。」等と熱い思いを訴えてシンポジウムの閉会となりました。



午後からは、3班に分かれて、春日大社神職3名（荒井氏、岩城氏、保尊氏）による普段は聞くことの出来ない貴重な説明を受けながら、御本殿、若宮御旅所御仮殿などを約2時間かけて拝観しました。

参加者からは、「基調講演では時間が1時間しか無く、もっと日本におけるスギ、ヒノキ、マツの歴史的観点からの話が聞きたかったです。」「春日大社の拝観では、過去に5、6回は訪れていますが、神職の説明はどの話も大変興味深いものでした。」などの感想が寄せられました。

古都奈良の底冷えのする1日でしたが、盛会に開催することができました。

この紙面をお借りして、シンポジウム開催にご協力頂きました各出演者、協議会の構成委員、協力関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

奈良森林管理事務所としましても、今後も春日奥山古事の森協議会と連携を図りながら、「古事の森」の普及啓発に取り組んで参ります。



森林ふれあいイベント「見て・さわって・樹木と友だちになろう『初冬』」を開催しました!

【森林整備部 技術普及課】 12月10日（土）、近畿中国森林管理局 1階展示ギャラリーにおいて、国有林を含めた森林全体の役割や大切さについて考え、自然に興味を抱いてもらうことを目的として、近畿中国森林管理局と大阪インストラクター会の共催による森林ふれあいイベントを開催しました。

当日は、家族連れを中心に約30名の参加があり、前日が雨だったこともあり、澄みきった空気とゆったりとした時間の中で、参加した方々に自然と向き合う時間を楽しんでもらうことができました。



参加者は最初に、庁舎前の毛馬桜之宮公園で、大阪インストラクター会の方から草花や樹木の豆知識を聞きながら公園内を散策し、その後、「カモフラージュ」というネイチャーゲームを通じて生き物の擬態や保護色について学びました。

その後室内に戻り、局職員の「国有林のおはなし」を聞いた後に、自然素材を使った「クリスマスリース作り」「丸太切り体験」「木づちで割って作る円板パズル作り」をそれぞれ体験しました。

その後室内に戻り、局職員の「国有林のおはなし」を聞いた後に、自然素材を使った「クリスマスリース作り」「丸太切り体験」「木づちで割って作る円板パズル作り」をそれぞれ体験しました。



参加者からは「内容盛りだくさんで楽しかった」「子ども達が大はしゃぎだったので来て良かった」「また子どもと一緒に手作りの木製品を製作したい」「いろいろなことを体験できて、とても楽しく有意義なひと時でした」など多くの感想をいただきました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

平成28年度 森林・林業交流研究発表会の開催

【森林整備部 技術普及課】 11月29日(火)～30日(水)の両日、近畿中国森林管理局大会議室において、「平成28年度 森林・林業交流研究発表会」を開催しました。

2日間の発表では、(研)森林総合研究所森林整備センター中国四国整備局鳥取水源林整備事務所、兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター、岡山県農林水産総合センター森林研究所、広島県農林水産局林業課、新見市産業部農林課、新見市地域おこし協力隊、大阪府森林組合、京都府立林業大学校、大阪府立園芸高等学校、京都府立北桑田高等学校、奈良県立西の京高等学校、森林管理署等から延べ200名の参加があり、林業の成長産業化や公益的機能発揮のための森林施業、治山等の技術、民国連携を目指した様々な取組について、26課題の発表が行われ、厳正なる審査の結果、大阪府森林組合(大阪府森林組合同(丸太交差工)について)、岡山県農林水産総合センター森林研究所(広葉樹数種の単木材積に関する調査—その推定方法とその活用—)、和歌山森林管理署(シカによる緑化被害の対策について)が局長賞を受賞し、全体では審査員長特別賞を含め9課題が各賞を受賞しました。

課題発表に続き、特別発表として(研)森林総合研究所関西支所、(研)森林総合研究所林木育種センター関西育種場、三重県林業研究所、広島県立総合技術研究所森林技術センターから最新の研究成果について発表いただいたほか、森林整備部森林技術・支援センターより研究成果報告を行うなど研鑽・交流の場となりました。

【平成28年度森林・林業交流研究発表会表彰一覧】

- ◎近畿中国森林管理局長賞
 - ・大阪府森林組合同「丸太交差工」について(大阪府森林組合 小川 哲生・西川 静一)
 - ・広葉樹数種の単木材積に関する調査—その推定方法とその活用—(岡山県農林水産総合センター森林研究所 西山 嘉寛)
 - ・シカによる緑化被害の対策について(和歌山森林管理署 秋田 顕二・西口 翔)
- ◎(研)森林総合研究所関西支所長賞
 - ・シカ防護柵の取組みについて—現地立木を利用した防護柵設置を実施して—(広島北部森林管理署 藤原 一昌)
- ◎(研)森林総合研究所林木育種センター関西育種場長賞
 - ・コンテナ苗等を用いた成長量の比較(山口森林管理事務所 茂野 潤・尾方 祐貴)
- ◎(一社)日本森林技術協会理事賞
 - ・大杉谷国有林における防鹿柵設置による森林植生の回復について—成功例を検証する—(三重森林管理署 石井 貴史・島倉 知樹)
- ◎(一財)日本森林林業振興会会長賞
 - ・立木を利用した斜め張り防護柵のシカ侵入防止効果の検証について(岡山森林管理署 丸山 晃史)
- ◎森林・林業交流研究発表会 審査委員長賞
 - ・トラップ法を用いたカシノナガキクイムシの防除に関する研究(大阪府立園芸高等学校 川井 千鶴・前田 保臣・宮田 剛)
 - ・新見市地域おこし協力隊(林業男子)2年目の挑戦—環境保全型森林ボランティアを通じた「生きる力」—(新見市産業部農林課 安達 喜彦・稲村 公孝)(地域おこし協力隊 佐伯 佳和・千井野 聡・仲田 翔)

お知らせ

平成29年度
「インターンシップ」の受け入れ
近畿中国森林管理局では、インターンシップ(春期)の受け入れを行います。

締切が、1月13日(金)と迫っておりますので、応募をお考えの方は、お急ぎ下さい。

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/kouhou/intern_161219.html

森林のギャラリー(局庁舎1階)

【1月のテーマ：自由展示】

1/7～1/13 新春書展 【竹扇会(2)】

1/16～1/31 スキー場紹介

【企画展示(保全課)】

【2月のテーマ：自由展示】

2/1～2/28 局の業務紹介

【企画展示(技術普及課)】

花草木

今月の花草木は「松(マツ)」です。

日本で見られる松には、アカマツ、クロマツ、ゴヨウマツ、ヒメコマツ、ハイマツ、リュウキユウマツ、ヤクタネゴヨウ、チョウセンゴヨウの8種(マツ科マツ属)のほかに、分類上の属が違う同じマツ科のトドマツ、エゾマツ、カラマツなどがあります。

この中でも特にアカマツとクロマツは、本州北部から九州、屋久島まで生育している身近な松です。

近畿中国森林管理局管内には、景勝地として

弁慶松(和歌山県田辺市)、気比の松原(福井県敦賀市)、築地松(島根県出雲地方)、関の五本松(島根県松江市)があります。

シリーズ 『国有林 最前線!』

～世界遺産の森～高野山国有林 和歌山森林管理署

和歌山森林管理署の管轄は県内全域にわたり、国有林野の所在する市町村は5市10町1村で、約16,000haを管理しています。このうち高野山国有林は、和歌山県北東部に位置し、元々高野宮林署が管理していました。真言宗の聖地・高野山には、貴重な建造物等が多数所在しており、平成16年には高野山金剛峯寺が「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコ世界文化遺産に登録、更に去る平成28年10月には、新たに女人道などが追加登録をされたところです。

このような背景もあり、平成17年度に「世界文化遺産貢献の森林」に設定し、①参詣道や木造文化財等と一体となった森林景観の保全②木造文化財等の修復に必要な檜皮や木材などの資材の供給③檜皮採取技能者でもある原皮師養成のためのフィールド提供④森林の関わりを学習する場としての活用などの事業を展開し、森林の重要性や森林と文化財の関わり等を普及する象徴的・総合的な拠点として整備しています。



高野山コウヤマキ植物群落保護林

また、高野山には、悠仁親王のお印にもなっているコウヤマキの保護林が所在しています。この保護林は、大正7年、コウヤマキ天然林の一部を原生状態で永久に保存するため、学術参考保護林に指定されました。その後、平成2年の保護林の再編により「高野山コウヤマキ植物群落保護林」と名称変更し、現在に至っています。中心部には全国的にも珍しいコウヤマキの純林が残されている外、周囲には寺院建造の目的以外での伐採が禁止されていた高野六木（コウヤマキ、スギ、ヒノキ、アカマツ、モミ、ツガ）が混在しており、まさに、往古から全山を覆って、栄えた伝統ある美山をしのぶことが出来ます。

高野山は、およそ1200年の昔、弘法大師により真言密教の根本道場として開創され、青森県の「恐山」、京都滋賀県境の「比叡山」と並ぶ日本三大霊山の一つとされています。

また、年間百数十万人に及ぶ参拝、観光客が訪れ、「白浜温泉」や「那智の滝」と共に和歌山県を代表する紀州三名所の一つともされており、今現在も訪れる人は、海外からの旅行者も含め日ごとに増加しつつあり、高野山国有林の保全・利用は益々重要な役割を担っています



高野山金剛峯寺を散策する観光客

—佐伯森林事務所の紹介— 広島森林管理署 首席森林官 河岡 一道

佐伯森林事務所は広島県西部の廿日市市串戸に所在し、湯来担当区（広島市佐伯区湯来町及び安芸太田町）及び佐伯担当区（廿日市市）があり、国有林13団地、面積4,604haを管理しています。



四本スギの根元部分

湯来担当区1,049haには恵下谷山国有林543haがあり、岩盤の多い急峻な山ですがスギ・ヒノキの優良材生産地で地元には平成5年まで水内製品事業所もあり多くのOBの方が働いた山です。山腹上部には林野庁の森の巨人たち百選に選定された「四本スギ」（推定林令200年生、幹周り約12m、樹高約46m）があり周囲の天然杉、広葉樹の大径木とともに林木遺伝資源保存林に指定され、珍しいコウヤマキ植物群落保護林もあります。

佐伯担当区3,555haには黒打山国有林562haがあり現在活用間伐を執行中です。作業地は国道や民有林にも接した危険箇所もあり安全に配慮して慎重な作業を行っています。搬出材のシステム販売は初めての経験で、先輩や署担当係に何度も聞き実務習得しています。また、毎年400万人が訪れる安芸の宮島には宮島国有林2,394haがあり全島の79%を占めています。宮島は平成8年厳島神社及び前面の海と背景林（都市公園地区）が世界文化遺産に指定されており、周囲を取り巻く形の宮島国有林には檜皮の森林ゾーンもあり平成13年全域が「世界文化遺産貢献の森林」に設定されています。道路は島の北西半分程度にしかなく、このため島南西部へは署の官用船に臨時の方と海上一周約30kmを操船し、絶滅危惧種ミヤマトンボが息づく特定動物生息地保護林やマツ枯れ状況等を巡視します。昭和59年3月の山火事跡地260ha等の学術調査や旧歩道の維持活動、宮島中学生による希少なモロコシソウ生息地清掃等ボランティア活動も盛んです。今後も地元との関わりを大切にして健全な山作りに努めたいと思います。



国有林上空をとる宮島ロープウェイ



国有林上空をとる宮島ロープウェイ
(二段目にかや谷〜獅子岩駅間)



宮島世界文化遺産指定地区

平成28年度 森林環境教育 (森林ESD) 活動報告・意見交換会

日時：平成29年1月28日(土)
10時～17時

会場：近畿中国森林管理局 大会議室
(大阪市北区天満橋 1-8-75)

大阪環状線「桜ノ宮駅」下車徒歩5分

森林環境教育(森林ESD)活動報告 講演及び活動報告

講演

①地域と学校の連携・協働の推進について
～次期学習指導要領等に向けた

これまでの審議のまとめも踏まえ～

講師 文部科学省 生涯学習政策局
社会教育課 地域・学校支援推進室
室長 渡辺 栄二 氏(予定)

②企業・NPO・地域と学校をつなぐ
「森林ESD」について

講師 公益社団法人 国土緑化推進機構 木俣 知大 氏

③「森林環境教育(森林ESD)」について

講師 京都教育大学教授 山下 宏文 氏

活動報告 6事例・13団体

①「山・里・湖、それぞれだけど、ひとつ。
自然と共にあるくらしを感じ、つながってみよう！」

一般社団法人 比良里山クラブ(滋賀県)
大津市立志賀中学校(滋賀県)

②「水のつながりプロジェクト」
森と水の源流館(奈良県)

③「学校林の財産的価値の変容に対応した
活用の仕方の検討に向けて」

下松市立米川小学校(山口県)
米川地区教育造林振興会(山口県)

④「地域小学校の学校林活動支援」
NPO法人 里山倶楽部(大阪府)

河南町立河内小学校(大阪府)

⑤「箕面『森の探検隊』の取り組み」
箕面森林ふれあい推進センター(大阪府)

箕面市立豊川北小学校(大阪府)
大阪青山大学(大阪府)

大阪森林インストラクター会(大阪府)

⑥「地域に根ざす特色ある学校づくりをめざして」
庄原市立峰田小学校(広島県)

アサヒビール株式会社 アサヒの森環境保全事務所
(広島県)

発表・意見交換会 参加希望の方は
HP よりお申し込みください

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo/fo/>

箕面森林ふれあい推進センター
問合せ先 TEL050-3160-6727

主催

林野庁近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
〒530-0042 大阪市北区天満橋 1-8-75
TEL050-3160-6727 FAX06-6881-2055
E-mail kc_fureai@maff.go.jp

共催

公益社団法人 国土緑化推進機構
特定非営利活動法人 近畿環境市民活動相互支援センター
(NPO法人エコネット近畿)

後援

文部科学省、近畿環境パートナーシップオフィス(きんき環境館)
大阪府、国立大学法人 京都教育大学、大阪青山大学
全国緑の少年団連盟、経団連自然保護協議会